

事業番号	349
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	児童生徒指導事業							担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	学校教育課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	学校教育係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		12 学校教育			3 教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します				
		副目的										
	予算区分	款	10	項	1	目	3	大	4	中	2	
	根拠法令・個別計画											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	児童生徒の非行を防止し、健全育成を図る。										
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導連絡協議会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の情報交換および生徒指導方法の協議 ・ 生徒指導研修会の実施 ○ 各学校における児童生徒指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内生徒指導の実施 ・ 街頭補導やパトロール強化による指導 ・ 児童生徒の非行防止と健全育成を進める啓蒙活動 ・ 生徒指導推進のための校区研修会の開催 <p>小牧市生徒指導連絡協議会へ業務を委託した。</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 委託料(3,600千円)</p> <p>◆平成26年度直接経費の内訳 委託料(3,600千円)</p>										
	受益者負担	無										

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	263	263	263	263
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	3,863	3,863	3,863	3,863		
対前年比	%			100.0	100.0	100.0		
財源	一般財源	千円	3,863	3,863	3,863	3,863		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	パトロール回数	回	目標	—	—	—
実績				1,497	2,462	1,999	
緊急補導回数		回	目標	—	—	—	—
			実績	3,466	3,706	3,947	
生徒指導研修会実施回数		回	目標	—	—	—	—
			実績	1	1	1	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
緊急補導回数	回	目標	—	—	—	—	
		実績	3,466	3,706	3,947		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	各校での街頭補導やパトロール強化により、緊急補導回数が増加した。また、校内生徒指導など児童生徒指導を推進し、児童生徒の非行防止について努めた。			
		事業実施における課題	児童生徒の健全育成推進のため合同パトロール・校区研修会など、学校・地域・家庭の連携をより一層進めていく必要がある。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	各校における非行防止と健全育成を進める啓蒙活動をはじめ、校内外の生徒指導活動の推進を妨げることになる。			
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	生徒指導研修会においてタイムリーなテーマで研修を行い、各校での生徒指導活動の一助としたい。さらに各校での校内活動のみでなく、街頭補導やパトロール強化により、校外での生徒指導も充実させ、非行防止を図る。			
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
	判定理由	各校ともパトロールや街頭補導などの校外活動、校内生徒指導を充実させ、問題行動の防止に校内外で活動を活発に行った。また、健全育成推進のため地域との連携も進めることができたため、現状維持と判定した。				
	27年度以降の改善案	生徒指導研修会においてタイムリーなテーマで研修を行い、各校での生徒指導活動の一助としたい。さらに各校での校内活動のみでなく、街頭補導やパトロール強化により、校外での生徒指導も充実させ、非行防止を図る。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。